

第 21 回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日 時：平成 30 年 2 月 5 日（月） 15：00～16：40

場 所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第 2 大会議室

1. PCV 内部調査状況について

IRID から 2 号機 PCV 内部調査の状況、東京電力から 3 号機 PCV 内部調査状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 今後、調査結果の分析及び考察を行う際は、これまで想定していた状況との比較も考慮に入れて実施するべきである。

2. 研究開発等の最近の取組状況と次期研究開発計画について

NDF から、研究開発等の最近の取組状況と次期研究開発計画について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 内部状態についての知見とその不確かさをふまえて目標を段階的に定め、それぞれの目標を達成する取り組みを設計していく予備エンジニアリングを進めていく上では、各段階の目標の達成に対して現在想定している燃料デブリ取り出し手法や、これまでの研究開発の成果の妥当性を検討し、特に先の段階の目標達成にはこれらが必ずしも適切でないことも十分に想定されることから、これらについて適切に見直し、新たな課題設定と解決策の考察を適宜行うことが重要である。
- このことから、内部調査は、今後の燃料デブリ取り出しに関する研究の方向性を決める上でも重要であり、優先して行うべきである。

以上